



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 天馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣野 裕彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役生産本部長兼財務経理部管掌 (氏名) 永井 勇一

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,578	16.2	1,706	27.0	1,791	32.8	707	65.3
2020年3月期第3四半期	63,953	2.2	2,336	69.0	2,664	44.7	2,039	61.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 836百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 1,555百万円 (650.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	29.74	
2020年3月期第3四半期	84.50	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	89,663	70,102	78.2	2,996.53
2020年3月期	94,543	74,156	78.4	3,073.41

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 70,102百万円 2020年3月期 74,156百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		40.00			
2021年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	14.9	2,700	11.9	3,000	16.7	2,800	11.8	118.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	26,813,026 株	2020年3月期	26,813,026 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	3,418,518 株	2020年3月期	2,684,867 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	23,782,899 株	2020年3月期3Q	24,128,350 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により停滞した経済活動が、ワクチン接種開始による感染症収束への期待の高まりにより持ち直してきましたが、足元では欧米を中心に感染症拡大が深刻化している状況となっております。また、米中貿易摩擦の長期化・深刻化等の景気下振れ要因も併存しており、先行きは不透明な状況が続いております。

日本経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、昨年の緊急事態宣言の解除後に緩やかに再開した経済活動も、感染症の再拡大により先行きを見通すことが出来ず、引き続き予断を許さない状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましても、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、感染拡大防止に努めるとともに、業務効率化、自動化の推進及び固定費削減に努めてまいりました。

この結果、売上高は53,578百万円（前年同期比83.8%）となり、営業利益は1,706百万円（前年同期比73.0%）、経常利益は1,791百万円（前年同期比67.2%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、天馬皇冠精密工業（蘇州）有限公司の解散及び清算手続きの開始に伴い発生した関係会社整理損等を計上した結果、707百万円（前年同期比34.7%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、昨年の緊急事態宣言時には外出自粛から自宅で過ごす時間が長くなる人が多くみられ、日用品需要が急増しました。また、緊急事態宣言解除後も引き続きホームセンターを中心に売上が増加しました。一方、工業品合成樹脂製品分野の受注につきましては、車両及び電機電子関連において新型コロナウイルス感染拡大の影響から取引先の減産調整により売上が減少しましたが、足元では持ち直しの動きもでてきております。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品の売上が好調となったこと及び前期から取り組んでいる物流の最適化等の実施により前年同期比で増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、17,276百万円（前年同期比99.7%）となり、セグメント利益（営業利益）は1,332百万円（前年同期比205.9%）となりました。

#### (中国)

工業品合成樹脂製品分野においては、新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の生産調整が続いたことから、天馬精密注塑（深圳）有限公司を中心に売上が減少しました。また、天馬皇冠精密工業（蘇州）有限公司の解散及び清算手続きの開始に伴い取引先へ受注品の返却を進めていることから売上が減少しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野においては、EC販売は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響からリアル店舗での販売が減少し売上は微減となりました。利益面につきましては、売上が大きく減少したこと及び売上減少に伴う工場の稼働減少により減益となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による工場の稼働停止期間の固定費につきましては特別損失に計上しております。

この結果、当セグメントの売上高は、12,762百万円（前年同期比69.2%）となり、セグメント利益（営業利益）は596百万円（前年同期比60.1%）となりました。

#### (東南アジア)

東南アジアの各拠点においては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している状況であり、工業品合成樹脂製品分野において、取引先の生産調整により売上が大幅に減少しましたが、足元では、各拠点でばらつきはあるものの、急速に回復をしてきております。利益面につきましては、工場の稼働減少に伴う固定費負担を減少させるため経費削減に努めましたが、生産調整による減収を吸収しきれず、前年同期を大きく下回る結果となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、23,541百万円（前年同期比83.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は685百万円（前年同期比45.1%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,880百万円減少し、89,663百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が1,017百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,972百万円、機械装置及び運搬具(純額)が1,383百万円、現金及び預金が1,055百万円、それぞれ減少したこと等によります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて827百万円減少し、19,561百万円となりました。これは、流動負債「その他(前受金など)」が1,108百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が1,560百万円、リース債務は356百万円、それぞれ減少したこと等によります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,053百万円減少し、70,102百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1,871百万円、利益剰余金が1,208百万円減少し、控除項目である自己株式が1,303百万円増加したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,995,694	29,940,895
受取手形及び売掛金	16,897,456	14,925,404
商品及び製品	2,636,264	2,476,659
仕掛品	661,842	674,133
原材料及び貯蔵品	3,664,622	2,926,779
その他	1,588,130	1,478,561
貸倒引当金	△1,941	△1,692
流動資産合計	56,442,067	52,420,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,722,636	13,739,191
機械装置及び運搬具(純額)	10,269,389	8,886,094
使用権資産	3,806,795	3,368,739
その他	3,736,058	3,241,346
有形固定資産合計	30,534,878	29,235,370
無形固定資産	3,001,982	2,870,831
投資その他の資産		
投資有価証券	3,062,957	3,536,567
退職給付に係る資産	1,017,061	1,034,988
繰延税金資産	60,147	195,799
その他	430,528	375,196
貸倒引当金	△6,650	△6,566
投資その他の資産合計	4,564,043	5,135,983
固定資産合計	38,100,903	37,242,184
資産合計	94,542,970	89,662,923
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,127,927	7,568,300
未払法人税等	337,519	351,879
賞与引当金	920,636	802,183
租税関連費用引当金	150,141	148,444
関係会社整理損失引当金	—	95,066
その他	4,340,681	5,448,399
流動負債合計	14,876,904	14,414,270
固定負債		
長期未払金	256,695	22,531
役員株式給付引当金	99,324	36,142
退職給付に係る負債	329,505	332,854
リース債務	3,599,482	3,243,524
資産除去債務	218,557	221,262
繰延税金負債	1,006,665	1,219,196
事業構造改善引当金	—	70,796
固定負債合計	5,510,229	5,146,305
負債合計	20,387,133	19,560,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	17,531,538	17,531,538
利益剰余金	39,298,419	38,090,506
自己株式	△3,954,500	△5,257,026
株主資本合計	72,100,807	69,590,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,092	589,618
為替換算調整勘定	1,664,951	△206,107
退職給付に係る調整累計額	160,913	128,406
その他の包括利益累計額合計	2,054,956	511,918
非支配株主持分	74	62
純資産合計	74,155,837	70,102,348
負債純資産合計	94,542,970	89,662,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	63,952,642	53,577,995
売上原価	52,930,212	43,312,313
売上総利益	11,022,430	10,265,681
販売費及び一般管理費	8,686,762	8,559,628
営業利益	2,335,668	1,706,054
営業外収益		
受取利息	123,559	109,229
受取配当金	121,221	120,660
持分法による投資利益	52,118	—
為替差益	26,638	—
その他	95,333	126,426
営業外収益合計	418,868	356,315
営業外費用		
支払利息	21,823	71,221
売上割引	62,505	64,016
持分法による投資損失	—	22,577
為替差損	—	105,405
その他	5,718	8,191
営業外費用合計	90,047	271,410
経常利益	2,664,490	1,790,959
特別利益		
固定資産売却益	123,068	25,105
補助金収入	—	29,994
特別利益合計	123,068	55,099
特別損失		
固定資産売却損	7,772	13,740
固定資産除却損	164,601	10,915
関係会社整理損	—	259,372
事業構造改善引当金繰入額	—	71,451
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	186,417
特別損失合計	172,373	541,895
税金等調整前四半期純利益	2,615,185	1,304,163
法人税等	576,434	596,871
四半期純利益	2,038,751	707,292
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,038,747	707,296



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,038,751	707,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168,827	360,527
為替換算調整勘定	△599,927	△1,828,719
退職給付に係る調整額	△52,606	△32,506
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△42,347
その他の包括利益合計	△483,707	△1,543,046
四半期包括利益	1,555,044	△835,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,555,040	△835,743
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△12

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2020年3月13日付にて第三者委員会から調査報告書を受領し、当社の海外子会社において税務調査等に関連して外国公務員に対する複数の金銭交付あるいはその疑いのある行為が行われていた旨の調査結果が報告されました(調査報告書(公表版)については2020年4月2日付にて公表しております)。当社としては、ステークホルダーの皆様および社会からの信頼回復を目指し、全社一丸となって2020年5月1日付にて公表しました再発防止に取り組んでおります。当該事案に関して、今後、当社に制裁金が科されるおそれがありますが、関連する法的手続は多くの不確実性及び複雑な要素を含んでおり、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、連結財務諸表には反映しておりません。また、海外子会社の所在地国においても現地において類似の制裁金が科されるおそれがありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の購入)

1. 2020年5月27日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により当社普通株式305,200株を総額520百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。
2. 2020年8月7日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当社普通株式464,200株を総額864百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間末において、自己株式は5,257百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループの一部の拠点においても、各国政府からの感染拡大抑制の指示による移動等の自粛や取引先での生産調整等から、工場の稼働に影響が出ております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期及び今後の当社グループに対する業績への影響を合理的に予測することは現時点では困難な状況にあります。繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する判断に関しては、現時点で入手可能な外部の情報源に基づき影響を分析・評価した結果、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続すると仮定して、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌四半期以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結子会社の解散)

2020年5月15日開催の取締役会において決議し、2020年3月期決算短信の(重要な後発事象)にて記載いたしました子会社の解散について、現在精査中としておりました当該解散による損益への影響について算定が完了いたしました。当該連結子会社である天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司の土地収用に伴い、固定資産売却益820百万円及び関係会社清算益231百万円を2021年3月期連結決算において特別利益として計上する見込みです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,331,642	18,436,130	28,184,870	63,952,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,719	110,120	81	180,920
計	17,402,361	18,546,250	28,184,951	64,133,562
セグメント利益	646,862	990,906	1,517,808	3,155,576

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,155,576
セグメント間取引消去	12,966
全社費用(注)	△832,874
四半期連結損益計算書の営業利益	2,335,668

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,275,629	12,761,750	23,540,616	53,577,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,412	183,189	—	251,600
計	17,344,040	12,944,939	23,540,616	53,829,595
セグメント利益	1,331,852	595,822	684,698	2,612,373

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,612,373
セグメント間取引消去	7,168
全社費用(注)	△913,487
四半期連結損益計算書の営業利益	1,706,054

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。